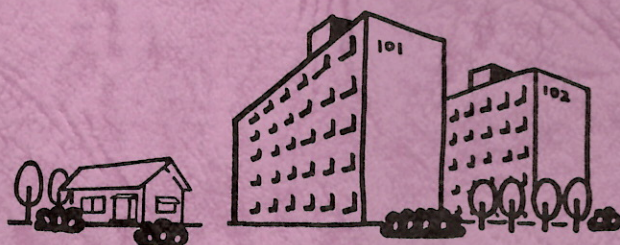
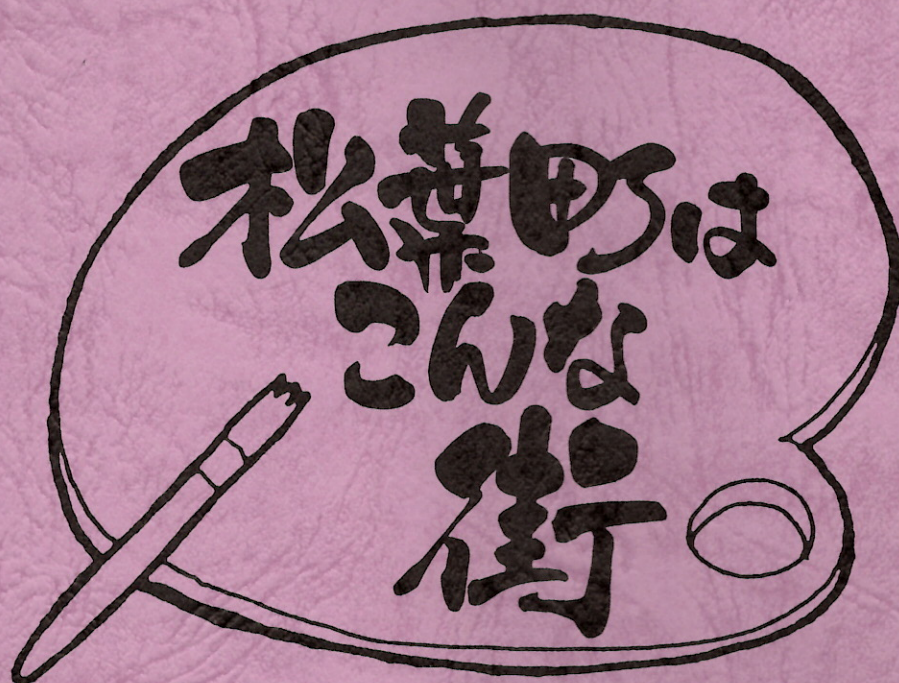


創立10周年記念



平成7年1月

松葉町地域ふるさとづくり協議会

松葉町住民相互の交流を
図るとともに、心豊かで
住みやすい地域にし、住
民の未来のために、より
良い環境と文化を残すた
めに、様々な活動を行な
います。

【目次】

ごあいさつ	協議会会長 末継 重利	2
お祝いの言葉	柏 市長 本多 晃	3
	商店会 稲飯 靖彦	4
	商店会 高田 直寛	4
10年の回顧(歴代会長)	初代会長 高田 保典	5
	二代会長 村井 寿太郎	
	三代会長 川上 利男	6
	四代会長 浜田 親雄	
	松葉第一小学校 四年生	7
10才になりました	松葉第二小学校 四年生	10
	協議会ア・ラ・カ・ル・ト(松葉町はこんな街)	13
	歴代役員・委員名簿	17
	松葉町の街並み	18
	写真で見るふるさと祭り	22
	協議会のあゆみ	24
	松葉町の行事	38
	数字で見た松葉町	44
	松葉町全体図	50



協議会設立10周年を迎えて

松葉町地域ふるさとづくり協議会

会長 末 継 重 利

私たちの松葉町地域ふるさと協議会が設立されて10周年を迎えました。

顧みますと、昭和54年に松葉町が誕生し、同56年頃から、日本各地の出身者のほか、外国出身の方も順次入居され、習慣・生活様式・価値感の違いがある中で、これを取り越え、明るい暮らしやすい街にしようと、柏市が推進する「ふるさと運動」に合わせ、昭和59年9月に当協議会が設立されたのです。

「子ども達に良きふるさとを」「お年寄りが安心して暮らせる街を」を目標として、先ず、新しい街づくりの拠点として「近隣センター」の建設を市にお願いする運動から開始し、次いで「地域自治連絡部会」をはじめ各種の「委員会」等を組織化し、多面にわたる活動を展開してきました。

お陰さまで、各活動とも着実に実績をあげ、「松葉近隣センター」は約200団体のサークル活動を中心に、利用者は年間10万人を超えるようになり、住民ふれあいの場としての「ふるさと祭り」「文化祭」「スポーツ大会」なども年々参加者が増え、また、住環境改善のための諸活動も広く展開できるようになりましたが、これもひとえに、今日までの歴代役員・委員の方々のご尽力と、地域の各商店会、各種団体、並びに行政機関その他多くの皆様のご支援をはじめ、住民各位のご協力の賜ものと感謝申し上げます。

街づくりには、まだ幾多の課題をかかえています。今後とも住民を中心に、近隣関係者等とも連携を密にし、さらに積極的活動を続ける所存ですので、皆様のご支援ご協力をお願い致します。

ここに、当協議会の、その始動期をふくめて、来し方を振り返り、記念誌を発行することに致しましたが、この編さんに当たられた方々に、深甚なる謝意を表します。

末筆になりましたが、私たちの松葉町の今後の益々の発展と、皆様のご多幸を祈念し、協議会設立10周年にあたっての御礼のご挨拶と致します。



設立10周年を祝して

柏市長 本多 晃

松葉町地域ふるさとづくり協議会の設立10周年誠におめでとございます。心からお祝い申し上げます。心からお祝い申し上げます。御案内のとおり、本市は昭和53年以来、市民一人ひとりがふるさとと誇れるまちづくりを目指し「ふるさと柏の創造」基本理念に、市民参加によるふるさと運動を積極的に推進しております。

このような中、松葉町地域の皆様には、この主旨に温かい御理解を賜り、各町会、自治会、管理組合等の団体を中心に地域の皆様が一丸となって取り組み、昭和59年9月に松葉町地域ふるさとづくり協議会を設置し、地域活動を活発に展開されておりますことは大変喜ばしい限りであります。

現在、近隣センターは市内に20館を数えますが、それぞれの地域の特性にあわせた、「市民の手による地域社会づくり」が着実に進められておりますことは、行政を預かるものとして誠に心強く、感謝に堪えない次第であります。

特に、設立10周年を迎えられた当協議会におかれましては、「子供たちに良きふるさとを」「お年寄りが安心して暮らせる町を」を基本理念として積極的なまちづくりを推進し、地域に根ざした活動は年を重ねる毎に充実の度を増してこられました。これも偏に、末継会長をはじめ歴代役員の皆様や地域の皆様方の多大な御尽力の賜物であり、ここに改めて心から敬意と感謝の意を表する次第であります。皆様方におかれましては、本年を新たな契機として、当協議会はもとより、本年市制施行40周年を迎えた柏市の更なる躍進に向け、また、心の通いあう「いきいきとした活力のある美しいふるさと柏」の実現のために、なお一層の御尽力を賜りますようお願いしてやみません。

終わりに、松葉町地域ふるさとづくり協議会のみましますの御発展と、皆様方の御健勝並びに御多幸を心からお祈り申し上げます、お祝いの言葉といたします。

創立10周年を祝して

松葉町商店会協同組合 理事長 稲飯 靖彦

心のふれあう街づくり

北柏団地中央商店会 会長 高田 直寛

昭和56年に入居が始まった松葉町は、集合住宅の管理組合以外なにもない状態で始まりました。自治会、学校のPTA、協議会の結成等、先頭を歩まれた皆様の御苦勞に敬意を表します。我々の商店会は住民で有ることを第一に地域に密着して活動してまいりました。

協議会10周年を想うとき、夏祭りに参加しての「ふれあい動物園」が大雨の為に中止となり、用意した50メートルのU字溝に放した一万匹の金魚を、地金堀に放した際、赤い帯になって泳いで行く金魚の群れを思い出します。

協議会の活動も年間を通して行われるようになり、特に北柏団地中央商店会より引き継いだ盆踊りも柏一と言われる夏祭りになりました。我々も花火の華をそえておりますが、役員の皆様様の運営努力に感謝致しております。

これから住民の高齢化、学校の過疎化と問題はあると思いますが、より住み良い街づくりに協議会が活躍されることをお祈り申し上げます。

松葉町地域ふるさとづくり協議会創立10周年を、心からお祝い申し上げます。

ふるさとづくり協議会の名の通り、貴協議会の役員をはじめ、各委員の活躍は、一致協力に基づいて見事な成果を挙げられ、地元の一員として感謝致しております。松葉町唯一最大行事の、ふるさと祭りも毎年一歩々々地道に、安全に、快適にと、正にふるさとづくりに貢献なさっておられる様子が、ひしひと心に通じて参ります。

当商店会一同も、貴協議会や会員の皆様と共に活動し、地域の皆様方に喜ばれ、親しまれる商店会を目指して行く所存でございます。

貴協議会の皆様方の経験と実績を活かし、松葉町民のふるさとづくりに、よりよい環境づくりに、住みよい街づくりに、益々のご活躍を期待しております。

協議会設立時の思い出

初代会長 高田 保典

松葉町に近隣センターの設置を市に要望する運動が起り、この受け皿として、「ふるさとづくり協議会」を設立する運びとなりました。協議会は町会・自治会等の住民団体を母体にして結成されることとなり、当時六丁目の町会長を勤めていた私がこの会長を仰せつかりました。

いつも思っていることですが、松葉町の方々の出身地は、北は北海道から南は九州・沖縄まで全国にまたがっています。いわば松葉町は日本の縮図でもあり、当然住民のもの考え方も多様であり、協議会の組織のありかたにも反映されます。

松葉町全体を網羅する団体を初めて結成する舵取り役として責任の重大さをひしひしと感じながら運営したことを思い出します。出席者全員が発言でき、合意を得る運営をしていかねば協議会は成り立ちません。協議会の組織は松葉町住民全体のものであり、この立場に立って協議会の組織を作り、運営を進めてまいった積もりです。

一緒に仕事をした役員の皆様のお力添えて、何とか大役を果たすことが出来ましたことを、改めてお礼申し上げます。最後に、協議会が松葉町住民の皆様の「街づくりセンター」としてますます発展することを切望してやみません。

親睦を図ったふるさと祭り

第2代会長 村井 寿太郎

初代高田会長は、松葉町近隣センター建設のため、長期にわたり多くの方々の協力を得ながら、大変苦勞の末実現しました。その後の利用度を見れば分かる通り、住民の方々がどれだけセンターの完成を待っていた事でしょう。

私は、昭和63年一年間務めさせていただきました。私は、何か一つ住民の親睦が図れ、喜んでもらえる行事はないかと考えていました。当時は、各町会・自治会毎に納涼会（夏祭り）を催しており、私も二丁目町会にて納涼会を昭和62年8月に試みました。予想を上回る大勢の人に参加してもらえました。その後、夏祭りについて話しをしてみますと、町会・自治会によっては、世帯数が少ないので出来ないという声も聞きました。

そこで、松葉町全体のお祭りを提案し、実行委員会を組織しました。「松葉町ふるさと祭り」と名付け、住民の皆様には協賛金をお願いし、松葉町内両商店会及び近隣の会社・商店よりご支援を賜り、第一回松葉町ふるさと祭りを、昭和63年8月に開催する事が出来ました。今思い出しても、盛大で事故もなく終わりました事に對し深く感謝しているとところでございます。

終りに、松葉町ふるさと祭りが末長く続く事を願っています。

10周年に想う

第3代会長 川上 利男

「10年」で思い出す言葉。「苦節」（私にはふさわしくない）
「一昔」（年をとったみたいで嫌いだ）。「石の上にも」（これは3年）。とにかく10年が過ぎて、協議会も軌道に乗って来た。協議会の10年は手造りの10年だったと思う。松葉町は全くの新しい街としてのスタートで、良くも悪くも歴史がない。頼るべきものもないが、抱束されるものもなく、その点では自由な街づくりができた。出会ったばかりの人達が熱っぽく語り合っただし、祭りなどでは商店会の人達とも侃々諤々、けっこう楽しかった。

この10年で、取り上げるとすれば、やはり近隣センター建設とふるさとまつり、文化祭だろうか。センター建設では、当時の坂巻市民部長、近藤次長など、行政の方々との協議は数10回にのぼった。両方とも本当に熱心だった。センター建設部長だった中村志郎さん（7丁目）が10周年を迎えることもなく他界されたのは、残念である。

新しい街づくりに果たした協議会の役割は大きかったと思う。祭りを始め、松葉町の手づくり文化を、子供達に引き継いで行けたら幸せである。

10周年によせて

第4代会長 浜田 親雄

協議会10周年お目出とうございます。
10年の内、5年間協議会に席を置き、お手伝いをさせて戴きました。心豊かで住みやすい地域、子供やお年寄りに故里をスローガンに町作りに取り組んでまいりましたが、実行出来ない事も多く反省している次第です。しかし、後に続く人達が、真剣に町作りに取り組んでおり、安心しております。

柏の中でも、豊かな緑の町だと自負しておりますが、今後北部開発、北柏駅前開発、未開発地域の乱開発などで交通量が多くなり、町並みもこわれてしまう問題や、日本の年令人口に比例して、松葉町も後10年で50才以上の年令層が多くなり、高齢化社会対策など、10年を節目に準備していく必要もあります。松葉町の公園に、小鳥やリスなどが、人間と仲よく住める様な町作りが理想です。最後に、協議会に携わり多くの友人を得る事ができ、最大の喜びであり、行事のたびに町会、自治会、管理組合の方に協力をして戴き、無事5年間を過ごす事ができ感謝いたしております。益々、松葉町が住みやすい町になるよう、皆様の協議会に対する御協力をよろしく願います。

10年の月日は、色々なものを大きく成長させました。子供達も元気いっぱい。松葉町をふるさととして成長している松葉1小、2小の10才の子供達（4年生）に、松葉町のことを書いていただきました。

自然の多い松葉町

松葉第一小学校 中津井 亨

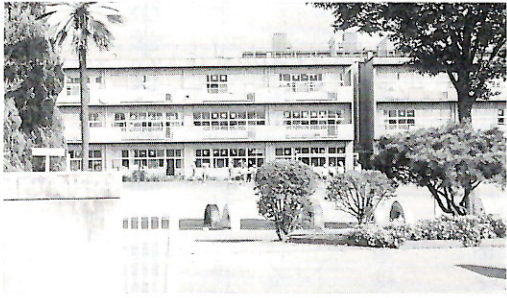
ぼくは、松葉町が好きです。その理由はいろいろありますがその中でも、自然の多いのが好きです。たとえば、木登りができたり、理科の虫や植物などの観察などがすぐできます。また学校園には、サツマイモが植えてあります。

「はやく食べたいなあ」

弟は、夏になると毎日のようにセミなどをつかまえてきて、お母さんをびっくりさせています。

お店がいっぱい出る夏祭りも好きです。ぼくもおどりました。

ぼくは、こんな松葉町が大好きです。



松葉町のこと

松葉第一小学校 鈴木 梓

わたしは、柏の松葉町にすんでいます。一才になる前にまくはりというところからひっこしてきました。

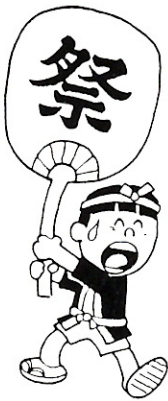
松葉町は緑が多い町です。サクラやケヤキやクチナシなど、いろいろな木があります。

町ができてから、十年ちよつとぐらいで、柏では新しい町だそうです。商店が、たくさんあって、買い物にべんりです。わたしのかよっている小学校も、近くにあります。夏祭りや文化祭など、いろいろな行事があつて楽しいです。

友だちと遊ぶときは、公園や、近りんセンターのアリーナでボール遊びなどをします。

柏には、美じゆつ館や博物館がないので、町の近くにできれぱいいなあと思います。それと駅までちよつと遠いです。

でも、わたしは、松葉町にすんで、とつてもよかったです。



松葉町のこと

松葉第一小学校 北岡 潤子

私が、この松葉町に来たのは、二才のころだったので、昔の事は、あまり覚えていませんが、今、マルエツがたっている所は、原っぱで、虫や花がたくさんさいていました。そこで、家族や友だちとボール投げや虫とりをたくさんして遊んだ事は覚えていません。

春になるとさくらの花が美しくさくし、夏になると、せみの声が松葉町全体にひびいているように聞こえるし、秋になると落ち葉がたくさん広がっているし、冬になると、木も花もかれてしまうけれど、また春になるじゅんぴができていて、きせつを感じる事ができて、とってもよい所です。

ようち園も、小学校も、中学校も近いのでとてもあぶなくなくてべんりです。

前に住んでいた所にくらべると松葉町の部屋は、ずっと広いのでびっくりしました。

松葉町は花や木がたくさんあって、自然がたくさんあるように作られた町だから、とっても大好きです。

わたしは、この松葉町が、自然があつていい所だと思います。

松葉町のこと

松葉第一小学校 土師 和也

ぼくは、4月にひっこしてきました。今までにいろいろな所に行きました。

マルエツやエイムや青い鳥やキンリンセンターやキンリン公園いろいろいきました。

それで松葉町には、いろいろな物があるんだなと思いました。友達の家もだいぶおぼえました。

ぼくは、(楽しい所だなあ、いろいろ遊ぶ所もあるし。)と思いました。そして、学校が家から遠くなくてよかったです。

祭りの時も楽しいです。

かめすくいや金魚すくいやスーパールすくいやソースせんべい、らくがきせんべいや、いか焼き、たこやきまだまだたくさんありました。

こっちは、前住んでいた所とちがって木や草や緑がいっぱいあります。でも日がしずむのが早いです。

前に住んでいた所は、6時30分ぐらいまでは明るかったです。それに学校もちょっと楽しくなってきました。

ぼくは、松葉町にひっこして来てよかったと思います。

私にとっての松葉町

松葉第一小学校 小林 あい

私は、この10年間、じぶんでは、松葉町とともに、くらしてきたと思います。むろん、家も、松葉町です。

松葉町は、私のじもとでも、いえるところです。

私は松葉町の、人たちは、みんな、いい人ばかりだと思います。

私が、けがをしたことがある坂。たぶん、その坂もどこをけがしたか知っているでしょう。だって、松葉町ですもの。

私は、松葉町のこと、半分ぐらいは知っているつもりです。

私のいとこや、おばあちゃんちは、とよふたですが、私は松葉町でよかったです。

松葉町にはいろんな、お店だってあります。マルエツ、クスリやなどたくさんあります。

でも松葉町も、どんどんかわりつつあります。原っぱが家になつたりしてきているのがどんどんわかります。やはり10年間ずつといたんだなあ、とそういうきもちです。

これからの松葉町について

松葉第一小学校 寺本 大介

ぼくは、土曜日や日曜日に近くの公園球場で野球をやっています。ぼくは、プロ野球を見るのも好きです。だから、よく、なまで見に行きたいです。柏市は、柏レイソルで有名です。でも大きな球場は、ありません。だからスタジアムがこの松葉町にできたら、野球を見たり、自分でやりたいたいです。また、今、松葉町には、たくさん緑があるのでなくならないようにしたいです。ゴミをすてきれいな環境にしたいと思います。スポーツに親しみ、自然を大切にして、みんなが楽しく健康に生活できるようにしたいです。

松葉第一小学校Ⅱ佐々木一夫校長、児童数810名。

開校は、昭和56年4月1日。学区は松葉町3丁目の一部、4丁目の一部、5丁目全部、6丁目の一部、7丁目全部と若柴、十余二の一部となっています。

ピーク時は、一千名を超え、教室が足りなくなつて、プレハブ教室が増設されたこともありました。元気な子供達の声が松葉町に響いています。

松葉町ふるさと祭り

松葉第二小学校 加藤 裕理

私は、夏休みの終りの方にある、「松葉町ふるさと祭り」が大好きです。だからいつも楽しみにしています。

私は、小さいころ、埼玉県吉川町に住んでいました。そこにもお祭りはあったけど、もっと大きなお祭りだったらいなと思っていました。だから柏市に引っこして、松葉町ふるさと祭りを初めて見て、大きくて、びっくりしてしまいました。

りんごあめ、金平糖、わたあめ、みたことのないお店がならんでいて、つききよろきよろきしてしまうくらいでした。とくに、ドムドムのタダ券がもらえるゲームは、おもしろくて、食いしんぼうの私は、何回もやりました。

私は、このお祭りが、松葉町の町会の人が開いていると知って、町会の人たちみたいに、私もいろんな人と協力できる人になりたいなと思いました。



敬老会でも活躍する子供達

ぼくは、これからの松葉町は、緑が多くだれにでも親んでもらえる町にしていきたいです。そして、ぼくたちですみよい町にするため、いろいろな努力をしていきたいと思います。

松葉町も10才に

松葉第二小学校 林田 裕樹

松葉町は、緑が多く、道路のなみきも整びされています。また町の中はたくさん公園や広場があり、サッカーや野球などの遊びもできます。

大きなスーパーもあり、車でも自転車でも歩きでも買い物にいけないようになっていきます。ぼくもこういう松葉町にすめててもうれいしいです。

このほかにも、松葉町は夏におまつりがあり、ぼくもよくいっています。

こういう松葉町は、ぼくも大好きです。

松葉町のうつりかわり

松葉第二小学校 川口 香織

私は、この町に、10年間ずーっといます。松葉町も、このころは、すぐくかわっています。それは、どこかというところ、人口がたくさんふえている所です。ふえているから、お店もふえてきてます。数年前にくらべると、自然や緑がへって、川がきたなくなっています。それは、人が川に、あきかん、ゴミを、たくさんすてているからです。私は、松葉町をこれ以上、ゴミだらけには、したくありません。一人づつ気をつけていけば、きれいな町になると思います。私は、ほかの町から、きた人が、この町を見て、

「この町は、きれいだね。」
と言われるように、したいです。私のふる里みんなの、だじな町、みんなで、少しづつ気をつけて、一番きれいな町にしたいです。



松葉町の一年間

松葉第二小学校 加藤 三恵

わたしは、松葉町四丁目に住んでいます。松葉町には、楽しい行事がたくさんあっていいと思います。たとえば、一月こま羽ご板大会、三月グラウンドゴルフ大会、八月ふるさと祭り。その時は、おみこしをかついだり、夜店に行ったり。秋にはカレーパーティー、冬の初めにはおもちつき大会、二か月に一回位にクリーンデーなど、いろいろな事があり、行事が近づくともともうきうきしてきます。

大きな行事の中で、一番楽しみなのは、カレーパーティーです。カレーパーティーというのは、原っぱに行つて、自分たちでカレーを作ります。ビニールシートをひいて、その上でカレーをおなかいっぱい食べます。外で食べるカレーは、とてもおいしいです。

これからも、いろいろな行事にさんかしていききたいです。



私と松葉町

松葉第二小学校 猪俣 有加

私のまどからみえる松葉町の風景もだんだんかわって来
ます。

私が一年生のときは、ぞうき林がいっぱい見えました。

そして、竹の子がとれてその皮で遊んだりして楽しかった
です。

夏は、お父さんと、いっしょに、くわがたとりに行きました。
けれど今は、ぞうき林をつぶしてアパートを作ってしまった
た。

私は、とてもざんねんです。

木は、みんな始めは小さくて、何十年もかけて大きくなる
うです。

私が大人になった時、松葉町に大きな木がたくさんあったら
いいなあと思います。だから、私の手でふやしていけるように
考えていかなければいけないと思います。



私と松葉町

松葉第二小学校 大山 祥

私は、5才の時に松葉町に引っこしてきました。引っこして
来た時、私は「わあ、大きい町だな。」と思いました。そんな
松葉町が私が生まれた時から、できていると思うと「すごいな
あ」と思います。もう私は五年間住んでいます。松葉町は、
もう15年間も人々を育てています。

こんなに広い松葉町に住んでいる人たちはふだんなにげなく
ふつうにすんでいます。

わたしも、松葉町にむけて何かかんがえてあげたいと思いま
す。みんなで、力を合わせて、松葉町をもっともっと住みよ
い町にしたいと思います。

21世紀に向けて。だって、もう、松葉町は15年間も人々を育
てつづけているんですから。

松葉第二小学校Ⅱ関房治校長、児童数819名。
開校は、昭和57年4月1日。学区は松葉町1丁目全部、
2丁目全部、3丁目の一部、4丁目の一部、6丁目の一部
と松ヶ崎の一部となっています。
やさしく、元気な目をかがやかせている子供達です。

松葉町 ア・ラ・カ・ル・ト

『ふるさとづくり協議会』って？

各地にはコミュニティーセンターという市民の施設があります。柏市では「近隣センター」と呼んでいます。柏市には現在、二十か所に近隣センターがあり、この施設を中心に地域住民相互のコミュニケーションを図り、街づくりを行っていく組織です。

協議会の構成は？

各町会、自治会、管理組合、地域の文化・スポーツ団体、民生児童委員、商店会、老人会などの各種の委員、団体で構成されています。

どのような活動をしている？

住民がすみやすく、暮らしやすい街づくりのために市や警察に対していろいろな陳情をしています。今までに、アサヒビール前の道路拡張、歩道の凸凹補修、信号機の設置やJR東日本に北柏駅階段増設の陳情などを行い、実現しています。また、東武バスとバスの運行について定期的に話し合いを持っています。街の行事としては、柏でも大きな祭りとなった松葉町ふるさと祭り、文化祭、グラウンドゴルフ大会、福祉講演会、敬老会、のどじまん大会、伝承遊び、映画会、チャリティーゴルフ大会などを開催しています。

代議員総会とは？

年一回開かれる協議会の最高議決機関で、代議員は各町会、自治会、管理組合や他の団体から選ばれ、年会活動や予算を決定しています。

住民との関わりは？

協議会には事務局のほか、一部・一部会・六委員会があり、各町会、自治会、管理組合が参加し活動しています。

部会・委員会の主な事業

【地域自治連絡部会】

1. 東武バス運行についての要請
2. 地域乱開発等の防止対策
3. 非行防止、痴漢防止対策
4. 敬老会
5. その他地域に関する問題の対策

【教育文化委員会】

1. 松葉町文化祭
2. 遊び道具等の手作り大会
3. その他文化的活動に関する活動

【福祉委員会】

1. ふれあい事業
2. 敬老会への協力
3. 地域ぐるみ福祉の啓蒙と普及

【近隣センター委員会】

1. 利用団体登録制度の諸手続
2. 近隣センターの大掃除
3. 近隣センター設備の充実
4. 柏市近隣センター連絡会への参加

【ふるさと祭実行委員会】

1. ふるさと祭の開催(柏祭り松葉地区)
(行事内容=盆踊り、神輿コンクール
出店)

【広報部】

1. 広報の発行(年3回)
2. 広報臨時号の発行

【体育委員会】

1. 住民参加の体育行事の開催
2. その他住民スポーツの啓蒙

【環境委員会】

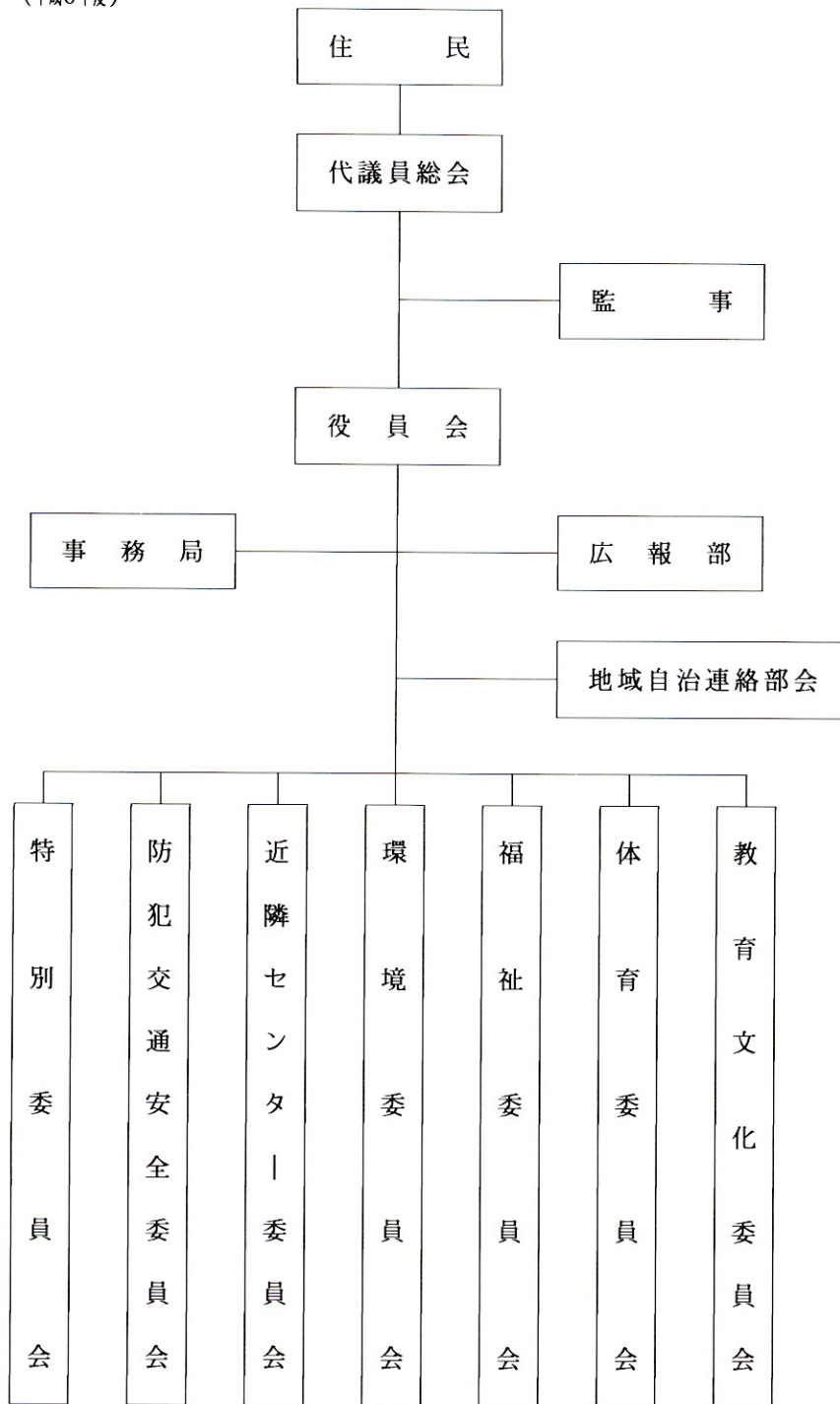
1. 水質浄化と水に親しむ運動
2. 花いっぱい運動
3. ごみ“0”運動
4. 住環境問題への取組み
5. 資源の再利用等の運動

【防犯交通安全委員会】

1. 交通安全に関する諸問題
2. 街路樹の維持に関する問題
3. 不法駐車等の対策
4. 地域内パトロール
5. 街路灯、防犯灯の増設問題等

【松葉町チャリティーゴルフ大会実行委員会】

1. 松葉町チャリティーゴルフ大会の開催
(年1回)



《加入町会等》

加入町会・自治会数----- 1 1

町会・自治会名

- ・一丁目第一自治会
- ・二丁目町会
- ・四丁目第一町会
- ・五丁目第一自治会
- ・五丁目町会
- ・七丁目町会

- ・一丁目第一町会
- ・三丁目町会
- ・四丁目第二町会
- ・五丁目第三町会
- ・六丁目町会

加入管理組合数----- 2

管理組合名

- ・一丁目第二団地管理組合
- ・五丁目第二住宅管理組合

合 計

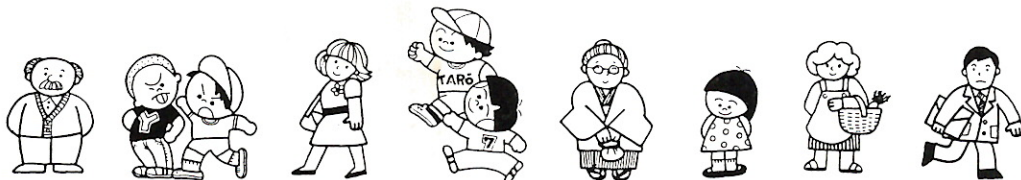
1 3 ……………平成6年度現在

協議会創立10年で13の町会等が加入し、協議会は運営されています。

残りの町会等の早期加入に向けて話し合いを進めています。

現在加入に向けて準備中なのは、下記の通りです。

- ① コープタウン北柏自治会
- ② 1丁目第3団地管理組合
- ③ グランヴィル松葉自治会



()内は丁目を表す

松葉町地域ふるさとづくり協議会 歴代役員・委員名簿

	昭和38年度	昭和39年度	昭和60年度	昭和61年度	昭和62年度	昭和63年度	平成元年度	平成2年度	平成3年度	平成4年度	平成5年度	平成6年度
会 長	副会長 高田保典(6)	会長 高田保典(6)	高田保典(6)	高田保典(6)	高田保典(6)	村井寿太郎(2)	川上利男(1)	川上利男(1)	浜田親雄(6)	浜田親雄(6)	末継重利(4)	末継重利(4)
副 会 長	副代表 大藏隆史(4) 内田勝規(5)	副会長 高田保典(6)	高田保典(6)	高田保典(6)	高田保典(6)	村井寿太郎(2) 高田保典(6)	下尾晃生(4) 山口達夫(5) 木村達家(4) 杉山達家(4) ↑(注)中交替	高田武夫(3) 大藏隆史(4) 山口達夫(5)	高田武夫(3) 末継重利(4) 中村志郎(7)	高田武夫(3) 末継重利(4) 榎本浩一(7)	菊地章夫(1) 吉金卓一郎(1) 榎本浩一(7)	菊地章夫(1) 高田武夫(3) 渡辺信明(4)
事 務 局 長	—	—	—	—	川上利男(1)	川上利男(1)	浜田親雄(6)	大藏隆史(4)	大藏隆史(4)	土藏統一(6)	土藏統一(6)	—
広 報 部	広報担当 田代真人(5)	—	—	—	部長 伊藤一博(7)	青山 茂(6)	青山 茂(6)	鈴木秀男(5)	鈴木秀男(5)	鈴木秀男(5)	鈴木秀男(5)	榎本浩一(7)
監 事	—	監査 榎本章代次(3) 榎本正二(7)	榎本章代次(3) 榎本正二(7)	村井寿太郎(2) 榎本章代次(3)	監事 沢田四郎(1) 保坂晃二(5)	沢田四郎(1) 三浦里治(5)	富田雷夫(2) 高田武夫(3)	松浦 明(1) 末継重利(4)	川上利男(1) 山口達夫(5)	川上利男(1) 山口達夫(5)	高田武夫(3) 大藏隆史(4)	吉金卓一郎(1) 谷口忠浩(4)
会 計	清水博充(5)	清水博充(5) 岡田安弘(6)	清水博充(5)	榎本正二(7)	高橋恵子(3)	高橋恵子(3)	高橋恵子(3)	高橋恵子(3)	高橋恵子(3)	高橋恵子(3)	高橋恵子(3)	高橋恵子(3)
渉 外	久保宇文雄(4)	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—
地域自治連合協議会	総務担当 榎本正二	総務部会長 松本 烈(5)	松本 烈(5)	内田勝規(5)	部会長 内田勝規(5)	内田勝規(5)	内田勝規(5)	浜田徹雄(1)	福原新一(5)	菊地章夫(1)	高田直寛(1)	三浦里治(5)
教育文化委員会	—	教育文化部長 青山 茂(6)	青山 茂(6)	青山 茂(6)	委員長 青山 茂(6)	佐々木一樹(1)	佐々木一樹(1)	佐々木一樹(1)	谷口忠浩(4)	谷口忠浩(4)	谷口忠浩(4)	山中修二(5)
保育委員会	—	保健体育部長 岡田安弘(6) 大藏隆史(4) ↑(注)中交替	大藏隆史(4)	大藏隆史(4)	委員長 大藏隆史(4)	大藏隆史(4)	大藏隆史(4)	堀昌二郎(6)	鎌田統志(6)	北原文成(4)	北原文成(4)	五十嵐徹(5)
環境委員会	—	生活環境部長 上田彌男(7)	上田彌男(7)	佐野 博(6)	委員長 佐野 博(6)	佐野 博(6)	佐野 博(6)	西本章治(2)	小林俊雄(5)	小川廣明(5)	渡辺茂宣(5)	渡辺茂宣(5)
定款及び条例委員会	—	定款及び条例部長 高田保典(6) 中村志郎(7) ↑(注)中交替	中村志郎(7)	中村志郎(7)	委員長 中村志郎(7)	中村志郎(7)	中村志郎(7)	中村志郎(7)	中島國武(6)	中島國武(6)	横山順造(6)	横山順造(6)
保健交通安全委員会	—	—	—	—	—	委員長 高川良次(3)	加藤 豊(3)	高木亮一(4)	伊藤達夫(4)	西本章治(2)	西本章治(2)	高山美美(2)
福祉委員会	—	福祉部会長 榎川三夫(6)	榎川三夫(6)	榎川三夫(6)	委員長 榎川三夫(6)	榎川三夫(6)	榎川三夫(6)	横山順造(6)	横山順造(6)	海老原天生(1)	海老原天生(1)	海老原天生(1)
大宮町歴史資料委員会	—	—	—	—	委員長 松浦 明(1)	松浦 明(1)	—	—	—	—	—	—

自慢の街並み



一丁目第一町会



グランヴィル松葉



北柏ライフタウン賃貸住宅



一丁目第三管理組合



一丁目第二管理組合



コープタウン管理組合



松葉町一丁目自治会



グランヴィル松葉と地金堀



松葉町三丁目町会



二丁目町会と街並み



五の二管理組合



四の一町会



四の二町会



中央商店



五の一自治会



五丁目町会



五の三町会



六丁目町会



七丁目町会



地金堀



踊るあほうに……



ふるさと祭り



本多市長も来場



手づくりみこし 大会



昭和58年(1983年)度

協議会のあゆみ

松葉町近隣センター設立準備協議会だより

1984年2月No.1

協議会広報委員会

ご挨拶

松葉町にお住まいの皆様

私達のまち、松葉町が出来まして、早や4年になろうとしています。

皆様の出身地は北は北海道、南は九州・沖縄まで全国各地に亘っています。そういった私達が何かの縁でこの松葉町に一緒に住むことになりました。この松葉町を住みよい、明るいまちにしていこうというのは皆様の共通のお気持ちではないかと思えます。それにつけても私達住民が、気軽に集まり、話し合いが出来る場所がほしいというはかねてからの願いでした。

このたび、町会や管理組合の代表の方々が集まりまして、「近隣センター」の設置を市へ要望しようということで話し合いが持たれました。

この話し合いに参加された方々は気持を一つにして、早く良い便利な「近隣センター」の設置をめざして、がんばる所存です。住民の皆様のご支援、ご協力を切にお願い申し上げます。

まずは、ご挨拶まで

1984.2.

松葉町近隣センター設立準備協議会代表

(六丁目町会長) 高田保典

★「近隣センター設立準備協議会」発足の経過と活動

かねてより住民の皆様のご要望の声が高かった近隣センター設置のための協議会がこのほど発足しました。

昨年9月4日に住民のよびかけがありまして、町会・住宅管理組合及び住民組織の代表等があつまり話し合いをもちました。その後、10月10日、11月27日、1月29日と会合を重ねまして次のような申し合わせをしました。

1. 松葉町1丁目から7丁目までの住民の組織である町会、住宅管理組合の代表が協議会のメンバーとなる。
2. これらの住民代表が市との交渉の窓口となる。
3. 役員構成(別表)
4. 事務局を5丁目の住宅管理組合におく

等のことです。

早速、市との話し合いをもちましたところ次のような回答を得ました。

1. 59年度には松葉町コミュニティづくりの準備に費用の補助をしたいのでその受付窓口になってほしい。
 2. 近隣センター設立時期は確約できないが、早くしたい。
- 協議会としては、当面の運動の進め方として設立時期を60年を目途において、住民の運動を盛り上げる。そのために、広報を発行したり、アンケートをとったりして、住民の皆様のを望をくみあげていくことにしたいと思っています。

9月
・近隣センター建設を目指し、町会・自治会・管理組合の代表者が集まり、初めての会合を開く

11月
・松葉町近隣センター設立準備協議会発足

2月
・「松葉町近隣センター設立準備協議会だより」発行
(人口9千908人)

「松葉町にも近隣センターを」の声があがり、町会や団体の代表が集まって話し合いを始めました。松葉町の入居が始まったのが2年前の夏(昭和56年)、まだ集合住宅も入居募集をやっていない所も、現在の半分にもなっていない段階です。全国各地から、ここを第二の故郷と移って来た人達が会ったばかりというのに、熱心に「ふるさとづくり」に取り組みました。

昭和59年（1984年）度

4月・近隣センター建設について市と打ち合わせ

・近隣センター設立準備協議会が、ふるさとづくり協議会設立について話し合いを持つ

6月・近隣センター早期設置の要望書を市へ提出

7月・松葉町地域ふるさとづくり協議会設立準備会が発足

9月・松葉町地域ふるさとづくり協議会が発足（5の1管理組合集会所で設立総会を開催し、会則・役員を決定）会長に高田保典氏を選出

・近隣のセンター見学会実施（田中・高田・富里の各近隣センターを見学）

11月・松葉町全域で近隣センター建設促進の署名実施

・協議会だより発行

12月・松葉町地域ふるさとづくり協議会発足の式典を行う
―市長他を迎える―（松葉幼稚園）

・8千300名の署名を添えて近隣センター設置要望書を市長に提出

市の指導も受けながら、スタートから一年経った9月

「松葉町地域ふるさとづくり協議会」が設立されました。

近隣センター建設の要望も強く、市議会や市長に要望

書を提出しました。市長への要望の署名は8千300名にのびりました。ちなみに、当時の松葉町の人口は9千360名（59年3月末）です。

協議会だより

松葉町地域ふるさとづくり協議会広報部会
発行 59. 11

ご挨拶

松葉町にお住まいの皆様、私達のまち、松葉町が出来まして早や5年近くになります。松葉町に一日も早く皆様の出身地は、北は北海道から、南は九州、沖縄まで、全国各地に広がっています。そういった放郷として、この松葉町に、柏市民として地元の方々と一緒に住むようになりました。第二私達の行動如何にかかっていると思います。第二に、町会、自治会、PTA、管理組合の代表の方々の気持が一つになって、松葉町住民の粗に「市民のセンター」として、近隣センターを設置するように市へ働きかけようという事を決めました。そのために、松葉町に「ふるさとづくり協議会」を設けることが決まりました。松葉町住民の粗を果すことになりましたが、皆様のご協力を切に要望致します。松葉町を住みよい地域に出来るかどうかは住民の皆様が持つ一つにかかっていると思います。一日も早い、近隣センターの設置をめざして協議会結成に集まった、町会、自治会、住宅管理組合の代表の方々はかんばる所存です。

松葉町ふるさとづくり協議会
会長 高田保典
(松葉町6丁目町会長)


●近隣センターの建設を促進する母体が出来ました

去る9月29日に松葉町内の町会、自治会、住宅管理組合の代表が、5丁目の集会所に集まり、松葉町に「ふるさとづくり協議会」を設立することで合意し、即日設立されました。松葉町には、住民組織として、町会や自治会、住宅管理組合の他に、PTA、青少年相談員、民生委員等の活動やテニス、基、卓球等の市民の自主的なサークル活動もあります。いまでは、集まる場所もなく、相互の連絡もない状況でしたが、これからは、この協議会が、その橋渡し役となり、松葉町に早く、近隣センターを設立する運動の母体としての活動が期待されます。この協議会をつくる集まりは、もともと、昨年9月に、松葉町に住民が気持に集まった。近隣センターを早くつくるように市へ働きかけようという事で、町会やPTAの代表が集まったのが始まりです。お互に船や気心がよく分らないまま、とに角、松葉町近隣センターを一日も早く建設するように市へ働きかけようという事で、町会やPTAの代表が集まったのが始まりです。最初、近隣センターを一日も早く建設するように市へ働きかけようという事で、町会やPTAの代表が集まったのが始まりです。

昭和60年（1985年）度

- 8月
 - ・近隣センター施設内容要望のアンケート実施
 - ・少年野球ニューセラミックス県大会優勝（市長を応援祝賀会開催）
 - 9月
 - ・納涼映画会実施（教育文化委）
 - ・近隣センター建設部会設置
 - 10月
 - ・北柏ショッピングセンター（マルエツ）建設説明会が行われる。
 - ・第1回松葉町芸能フェスティバル開催（松葉第一小学校）
 - 12月
 - ・陶芸教室を開催（教育文化委）
 - ・手賀沼汚染を考える会（松葉幼稚園）（環境委）
 - 2月
 - ・市長及び市幹部を迎え地域座談会実施（市西部消防署会議室）
 - 3月
 - ・第1回松葉町ハイキングデー・250名参加（布施弁天・利根川土手）（体育委）
- 空きの目立った団地も順次入居して、人口も1万人を越えました。街の活動も活発になり、少年野球が県大会で優勝、大型店建設の話も具体化してきました。協議会も、芸能フェスティバルや様々な勉強会などを

第1回
松葉町芸能フェスティバル



日時/10月27日午後1時～同4時 場所/松葉第一小学校体育館
●主催 松葉町地域ふるさとづくり協議会/松葉町芸能フェスティバル実行委員会



開催、3月のハイキングには、ヨチヨチ歩きの子供からお年寄りまで、250名が参加、10キロ余りのコースを歩きました。

昭和61年（1986年）度

- 5月
 - ・第1回グラウンドゴルフ大会開催（体育委）
 - ・「松葉町と常磐新線」についての講演会開催
 - 6月
 - ・ごみ0デー
 - 7月
 - ・協議会会則検討委員会発足
 - 9月
 - ・近隣センター建設着工
 - ・市主催の防災訓練開催（松葉中学校・1600人参加）
 - ・第1回敬老会・第2回芸能フェスティバル開催（松葉中学校）
 - 10月
 - ・広報（近隣センター特集号）を発行
 - 2月
 - ・大型店対策特別委員会発足（マルエツ出店決定）
 - ・第2回ハイキングデー（226名参加（体育委）
- 協議会の活動は更に活発になってきます。センター建設についての市との会合も熱心に行なわれ、内容が煮詰まってきました。
- 活動の拡大、参加町会等の拡大に伴って、会則の全面見直しが行なわれました。各委員会の強化と共に、それまでの代表者会議制が変わって、代議員制を採用することになりました。

さわやかな街・松葉町 86(昭61).10



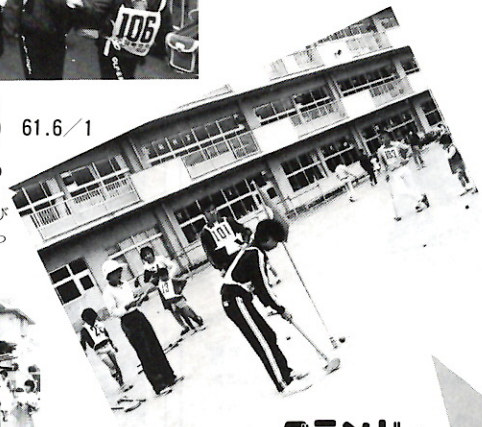
元気に出発する参加者

③ **ハイキングデー**
 61.3/30
 教育文化部会と保健体育部会が中心となって行われました。二百人近くが参加。利根川土手では、豚汁のサービスが喜ばれました。



草刈りやゴミ集めをしました

⑤ **ゼロゴミデー** 61.6/1
 生活環境部会の呼びかけに、地域がこぞって参加しました。



④ **グラウンド・ゴルフ大会** 61.5/11
 保健体育部会の主催。松葉一小で開かれ、約130人が参加。大人も子供も熱中しました。

昭和62年（1987年）度

7月 ・ 第1回代議員総会開催（市西部消防署会議室：56名出席）

9月 ・ 臨時代議員総会開催（市西部消防署会議室：59名出席）

10月 ・ 近隣センターオープン祝賀会（161名出席）

・ 第2回敬老会開催〈福祉委〉

・ 近隣センター使用開始

・ 近隣センターオープン記念芸能フェスティバル開催

11月 ・ 第2回グラウンドゴルフ大会開催〈体育委〉

2月 ・ 「手賀沼を考える集い」開催（参加者50名）〈環境委〉

3月 ・ 第3回松葉町ハイキングデー（雪のため中止・近隣センターでクイズ大会開催）〈体育委〉

念願の松葉近隣センターの完成です。センターの使用について、他のセンターの実態を調べるなど、準備に時間を費やしました。オープン前から、多くの団体がまだかまだかと待っていたのです。



昭和63年(1988年)度

- 5月
 - ・住民への大型店建設計画説明会が開かれる
 - ・第2回代議員総会開催
- 6月
 - ・ごみ0デー・ショッピングセンター(マルエツ) 工事開始
- 8月
 - ・第1回松葉町ふるさと祭り開催(中央商店会からバトンタッチを受ける)
- 9月
 - ・手賀沼船上見学会―排水の行方探索―(28名) 〔環境委〕
- 10月
 - ・第3回敬老会開催〔福祉委〕
 - ・路上駐車防止看板設置〔防犯交通委〕
 - ・北部総合整備計画について研修会
 - ・アサヒビール工場前道路拡幅工事開始
- 11月
 - ・市清掃工場見学会〔環境委〕
 - ・広報発行
 - ・第1回文化祭開催〔教育文化委〕
 - ・第3回グランドゴルフ大会開催〔体育委〕
 - ・マルエツ工事現場視察・街路灯設置要請
 - ・雑排水美人コンテスト(藤心近隣センター)〔環境委〕
- 2月
 - ・市へ陳情①アサヒビール工場前の交通渋滞問題〔署

名5390名) ②J R北柏駅階段増設(署名9000名)
 ・岩手県林業水産部・漁業協同組合からの海産物で料理講習会を開催

前年秋の、センターオープンで、協議会の活動も一挙に拡大します。それまで、中央商店会が行なってきた夏祭りを「松葉町ふるさと祭り」として協議会が行なうことになりました。

各町会の出店、子供みこし、踊り場のちようちん等名に一つとっても始めてのことばかりで、実行委員は眠れぬ夜が続きました。
 文化祭もこの年からスタート。芸達者、芸術家の多さに驚かされました。

松葉町地域ふるさとづくり協議会広報
 88(昭63).6月30日
 編集：広報部

みんなの本だな

市立図書館松葉分館



子供達でにぎあう図書館

昨年11月のオープン以来、ツブで、本館の利用に甘まる連日図書館は利用されるた 勢いで、開館から今年5月 までの八カ月間で貸出し冊数 利用冊数は、市内にある下 は、約四万七千冊に達して 四の分館の中でもなんせ下 います。

〈本の構成〉
 現在の蔵書冊数は約 一万七千冊、一般・児童・ 児童書は、それぞれ八千五 百冊です。
 蔵書の内容は、基本 的は児童書を中心とした 的な図書を中心としたを 揃えています。利用 頻度(ひんご)や要望 によって構成されて行

〈利用の仕方〉
 図書館は、本館を中心とす ばわが、と、おられるので あります。地域の図書館を見 ます。地域の文化水準 によって、利用の仕方は 異なります。

〈利用の仕方〉
 図書館は、本館を中心とす ばわが、と、おられるので あります。地域の図書館を見 ます。地域の文化水準 によって、利用の仕方は 異なります。

平成元年（1989年）度

- 5月
 - ・ 柏市および柏警察署へ陳情
 - ① テニスコート横に信号機設置の件
 - ② 2丁目バス通り駐停車禁止の件
 - ・ 平成元年度定期代議員総会開催
 - 6月
 - ・ 柏市ごみ0デー
 - 8月
 - ・ 手賀沼船上見学会参加へ環境委へ
 - ・ 第2回松葉町ふるさと祭り開催
 - 9月
 - ・ 第4回松葉地区敬老会開催（対象者1247名）
 - 10月
 - ・ 第3回松葉町グラウンドゴルフ大会開催へ体育委へ
 - 11月
 - ・ 第2回文化祭開催へ教育文化委へ
 - ・ 松葉町誕生10周年記念式典開催
 - 12月
 - ・ JR東日本本社に陳情 ①北柏駅階段増設の件
 - ・ クリーンピクニック実施（250名参加）
- 1月
 - ・ 賀詞交歓会開催
 - ・ 凧作り、凧上げ大会へ教育文化委へ
 時代は平成に変わり、松葉町も10年を迎えました。
- 祭り、文化祭、クリーンピクニックなどの恒例行事の他、北柏駅の階段増設など、幅広く問題に取り組んで行くこととなります。
- 10月、皆さんをお招きして誕生10周年と協議会5周年を祝いました。

さわやかな街・松葉町

'89(平成1) . 3 . 31

盛況料理講習会
岩手から海の幸



岩手県から新鮮な海産物が、三月三日に直送されました。ふるさとづくり協議会では、その産直品を用いた「料理講習会」を、

習会」を、松葉近隣センターで、月四日に開きました。海産物は無料で提供されたもので、岩手県林業水産部と同県漁業協同組合連合会の協力で実現しました。当日は、同部次長の吉崎浩さん、同部係長の堀崎松男さんも来柏され、岩手県産の「海の幸」について話されたほか、まだ生きている「ホタテ貝」を、ムキ身にする作業にも携わるなど、サービスマン満点でした。料理講習は、午前・午後の二回開かれ、大盛況。前田よし子先生の指導で、「シャケの冷製トマトソースかけ」ほたて貝のチーズあげ」などの講習が行われました。写真。料理後の試食。材料が新鮮だから、よけいにおいしさが増したみたい。生のまま食べないで、もったいないくらいと楽しい会話も、はずみしました。岩手の海では、サケやホタテ、ワカメなど味の良い海産物が豊富にとれるそうです。料理講習は、岩手の海に理解を深め、岩手県を「近くの県」にしてくれた催し」となったよし子先生の指導で、「シャケの

路上駐車防止
新しい看板設置

路上駐車防止のモデル地区（ヤスタクサンエブリ間の地金堀側道路）に、めいわく駐車をしないよう呼びかける新しい看板が、三月十二日に一斉に取り付けられました。写真。



同委員会では、十月を強化月間として「路上駐車そのけキャンペーン」を展開。せめて、スムーズなバス通交を確保しようと、運動を進めてきました。十月には、立て看板の設置、路上による呼びか

けなどを実施。「区間の路上駐車が減ったようだ」との声も届き、ある程度の効果も認められました。強化月間後に看板を撤去。その後も注視をしてみました。この程、新たに看板設置したものです。路上駐車は、一人ひとり注意しなければ、なくなりません。「ちょっとだけ」「私一人が」といったことが、みんなの迷惑になってしまします。せめて、お店のない地金堀側には、駐車しないようみんなまで気をつけましょう。

平成2年(1990年)度

5月 ・平成2年度定期代議員総会開催

6月 ・柏市ごみ0デー

・松葉町商店会協同組合、両小学校と共同で街角に花を植える〈環境委〉

7月 ・第1回ちびっこグラウンドゴルフ大会開催〈体育委〉

・柏市少年野球国際親善大会、松葉町で開催

8月 ・第3回松葉町ふるさと祭り開催

9月 ・第5回松葉地区敬老会開催(対象者1256名)

・手賀沼船上見学会参加

11月 ・松葉中学校10周年記念式典

・第3回文化祭開催〈教育文化委〉

12月 ・凧作り大会開催〈教育文化委〉

1月 ・凧上げ大会開催〈教育文化委〉

・賀詞交歓会開催

2月 ・第1回福祉講演会〈福祉委〉

商店会協同組合、両小学校と協力して、バス通りにプランターに花を植えるなど、地域の協力体制が整ってきました。

各委員会の活動も凧作りや、福祉講演会など、中味の濃いものになってきました。

'90(平成2)1.31

さわやかな街・松葉町

アサヒビル柏工場沿い 都市計画道路を改良

アサヒビル柏工場沿いの都市計画道路が、改良工事が完了すると、松葉町方面からの車線が二重線となります。この工事は、車道部分を拡幅し、これまで二重線だったものを、三重線に

上りもスムーズに分離されるのが改善されます。道路改良については、各町会の協力のもと署名運動を進め、昨年二月に協議会役員と蒲川市議とが市へ陳状、実現させられました。直進と右折が一緒だった車線を右折専用車線とするため、これまで右折車がある松葉町方面へ直進する車が進行できなかったものが改良されます。



北柏駅階段増設の陳情報告

北柏を利用する人が大幅に増え、現在の階段では危険な状態になっており、住民の皆様より署名をいたしまして、北柏駅長にもお願いをして、まいりました問題(東急ヒレ)の解決に努めます。本年一月二十日に蒲川市議、蒲川市議会議長に同行し、協議会役員、東急ヒレ、市議会議員など数名で、JR取締役を東京都圏



平成3年（1991年）度

- 5月 ・平成3年度定期代議員総会開催
- 6月 ・柏市グラウンドゴルフ協会設立記念大会参加
- ・第2回松葉町福祉講演会開催〈福祉委〉
- 8月 ・第4回松葉町ふるさと祭り開催
- 9月 ・第6回松葉地区敬老会開催（対象者―288名）
- 11月 ・第4回文化祭開催〈教育文化委〉
- ・第1回町会対抗グラウンドゴルフ大会開催〈体育委〉
- ・柏市長、柏警察署長へ陳情
- ①街路灯と信号機（テニスコート横）設置の件
- 12月 ・東武バスとの懇談会
- ①ラッシュ時の積み残しの件
- ②深夜バスの増便の件ほか
- ・こま作り、こま廻し（伝承遊び）大会開催〈教育文化委〉
- 1月 ・賀詞交歓会開催
- 2月 ・利根川へサケの稚魚放流〈松1、2小、事務局〉
- ・第1回松葉町チャリティーゴルフ大会への協力
- （商店会有志主催に協力―大利根チサンCCC）
- 3月 ・第1回ふれあいのど自慢大会〈福祉委〉



街が充実すると同時に、交通などの問題も顕在化してきます。信号機の設置を関係先に要望した他、住民の足であるバスについて、東武バスと懇談会を行いました。チャリティーゴルフ、ふれあいのど自慢が初めて開催されました。

平成4年(1992年)度

- 5月
・平成4年度定期代議員総会開催
・柏市ごみ0デー
- 6月
・柏市に陳情
①地域開発による道路等整備の件
②北柏駅階段増設の件
③北部開発に伴う交通量の件
④松葉町内歩道凸凹補修の件
- 8月
・第5回松葉町ふるさと祭り
- 9月
・第7回松葉地区敬老会開催(対象者—305名)
・手賀沼クリーンピクニック参加(環境委)
・松葉中学校前花壇の植え替え(環境委)
- 10月
・第2回町会対抗グラウンドゴルフ大会開催
- 11月
・第5回文化祭開催(教育文化委)
・柏市長に陳情 ①歩道補修に関する件
・迷惑駐車禁止看板設置(18枚)(防犯交通安全委)
- 12月
・松葉町クリーンデー
・こま、羽子板作り—伝承遊び(教育文化委)
- 1月
・賀詞交歓会開催
- 2月
・福祉講演会開催(福祉委)
- 3月
・第2回ふれあいのど自慢大会開催
・第2回松葉町チャリティーゴルフ大会開催



- (この年から協議会主催になる)
- ・ふれあい映画会開催(福祉委協力)
- ・ひとり暮らしの方を囲むお花見会開催(福祉委協力)
- ・東武バスとの懇談会実施

平成5年（1993年）度

- 5月
・平成5年度定期代議員総会開催
・柏市ごみ0デー
- 8月
・第6回松葉町ふるさと祭り
- 9月
・第8回松葉地区敬老会開催（対象者1337名）
・柏市主催手賀沼クリーンピック参加
- 10月
・親子三代ふれあいグラウンドゴルフ大会開催（体育委）
- 11月
・第6回松葉町文化祭開催（教育文化委）
- 12月
・松葉町クリーンデー開催（環境委）
・こま、羽子板作り―伝承遊び（教育文化委）（福祉委）
- 1月
・賀詞交歓会開催
・本多市長との懇談会開催
- 2月
・福祉研修会開催―横浜の福祉施設を視察（福祉委）
- 3月
・第3回松葉町チャリティーゴルフ大会（179名参加）
・東武バスとの懇談会開催
・ふれあい映画会開催（福祉委協力）
・ひとり暮らしの方を囲むお花見会開催（福祉委協力）



平成6年(1994年)度

- 5月
・平成6年度定期代議員総会開催
・柏市ごみ0デー
- 8月
・陳情が実現―JR北柏駅階段増設工事始まる
・第7回松葉町ふるさと祭り
- 9月
・第9回松葉地区敬老会開催(対象者―362名)
・清掃工場見学(環境委)
- 11月
・第7回松葉町文化祭開催
▼教育文化フェスティバル(教育文化委)
▼環境フェスティバル(環境委)
▼グラウンドゴルフ大会(体育委)(福祉委)
▼交通安全フェスティバル(防犯交通安全委)
▼北海道七飯町観光物産展
- 12月
・こま、羽子板作り―伝承遊び(教育文化委)(福祉委)
・松葉町線道路整備に関する陳情
- 1月
・『松葉町地域ふるさとづくり協議会』発足
10周年記念式典開催
- 2月
・センター協議会連絡会(近隣センター委)予定
- 3月
・東武バスとの懇談会(予定)
・チャリティーゴルフ大会(予定)
・ふれあい映画会(福祉委)予定



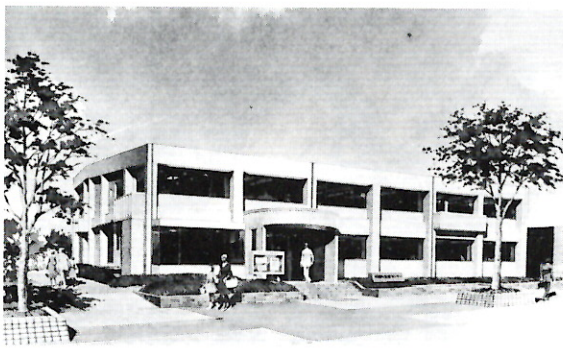
MATSUBA

松葉町地域ふるさとづくり
協議会広報

86(昭61).10月

編集：広報部会

近隣センターの完成予想図(市案)



近隣センターの工事請
負契約の締結が、九月二十二

延べ床面積=1575㎡ 2番目の大型館

62年10月完成の予定

できるぞ近隣センター

日の定例市議会議決されま
した。これにより、昭和六十
二年十月完成を目標して、工
事が進められることになりま
した。

民を対象としたアンケート調
査の実施、それに基づいた要
望書の提出のほか、柏市長と
懇談するなどして対応してき
ました。

また、市から提案のあった
設計案(図面)に対して、地

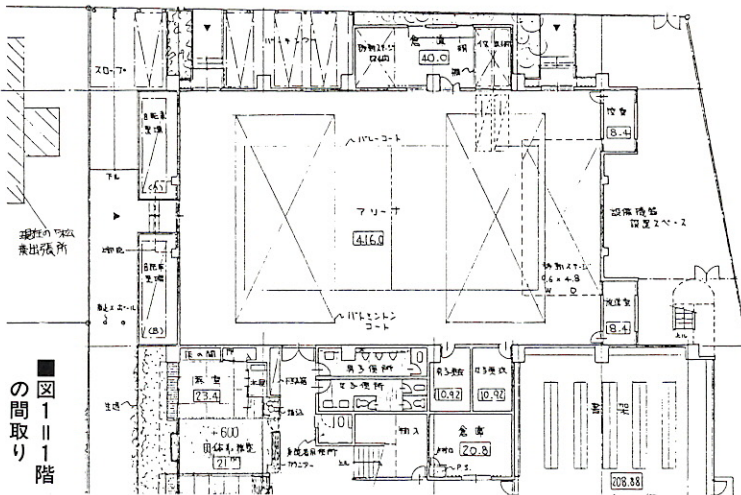


図1-11階の間取り



近隣センターが欲しい。そんな要望が住民
から出たとき、それは一体なんだ? 「近隣
センターを作って下さい。」と市に赴き、ふる
さとづくり協議会を作りなさいと言われた。
そこでまたそれは一体なんだ? そこから松
葉町の活動が始まった。理解の出来ないこと
だらけで始まったふるさとづくり協議会も、
はや10年、我々も10才歳をとった。

利根川土手へハイキング

松葉町を早く纏めたい。街へ出れば知らない人ばかり。どうしたらいいか。そんな事を毎日考えていた。ハイキングをやろう。誰かが言い出した。早速、利根川へ繰り出した。チラシの作り方、配り方、今のような体制が無く、関係者一同途方に暮れた日々が懐かしい。



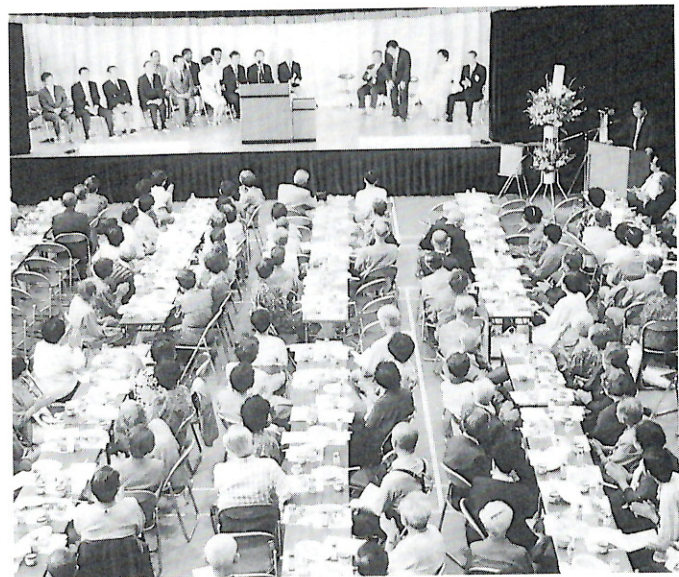
恒例行事になりました

ハイキングもいいが、グラウンドゴルフをやる。「そんなもの聞いたことが無い」と一蹴。一年間拒否を続ける。またやろうとしつこい。聞いて見ると面白そうで、やつと重い腰を上げる。松葉1小で開催。商店会の協力で、賞品の山。実行委員もびっくり。参加者は更にびっくり。商店会との接点が出来た貴重な催しだった。



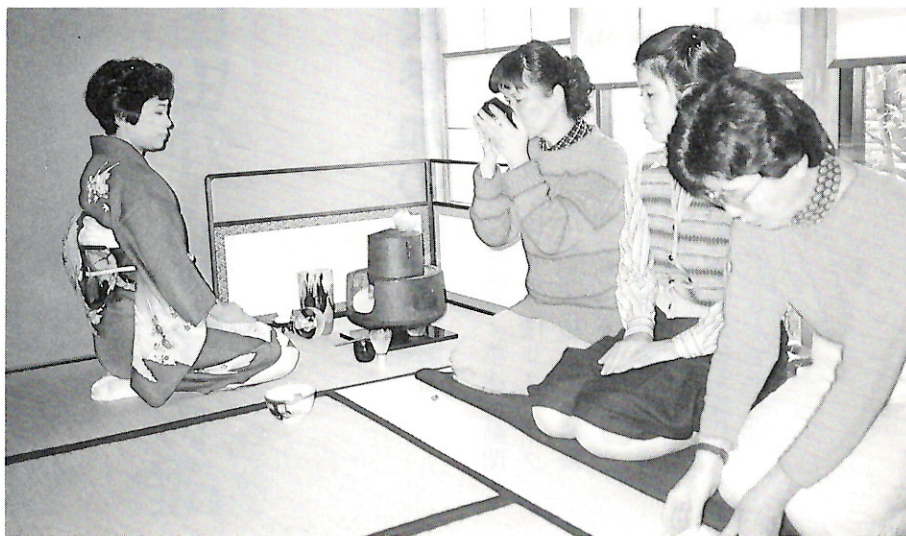


敬老会
 敬老会。協議会の組織が未完成の時代は、田中地区に大変お世話になった。近隣センターが出来てお年寄りにはホッとしました。松葉町の平均年齢はおよそ31才。我々が市から招待状を貰う頃は、自分たちで段取りをして、自分たちで踊るのか等段々深刻になってくる。今のお年寄りは、幸せなのかも知れない。



手づくりの文化祭

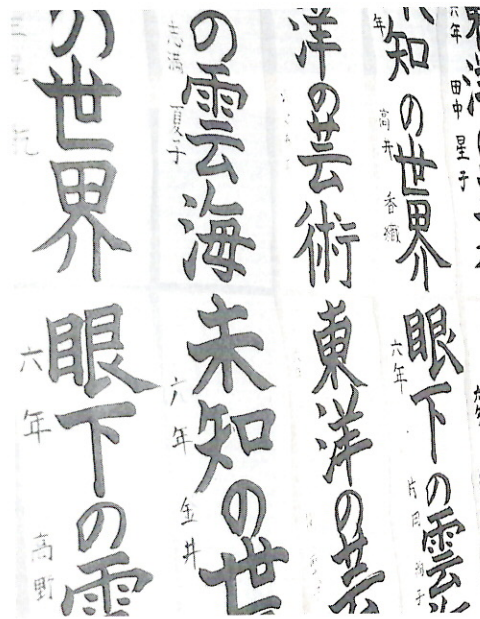
文化祭。松葉町のビッグイベントの一つだ。数々の行事の中で、祭りと共に最も手の掛かるもの。実行委員が悲鳴をあげながら取り組んでいる。苦勞を見せずに頑張る役員。一人でも多くの人に、近隣センターへ足を運んで欲しい。





住民参加の文化祭

柏レイソルを文化祭に呼ぼう！早速行動開始。会社を素早く飛び出し（さぼり？）柏グランドへ。当日参加のブラジル選手を、グラウンドへ迎えに行き、松葉町内で昼食。コックさんが焼いたステーキにんにくが。「にんにくはノーサンキュー」慌ててまた焼き直し。国民性を見る。色んな事があるんです。協議会活動には…………。



各委員会の事業



ごみ0デー(上・中・下)と中学校前の花壇植え替え(右上)〈環境委〉

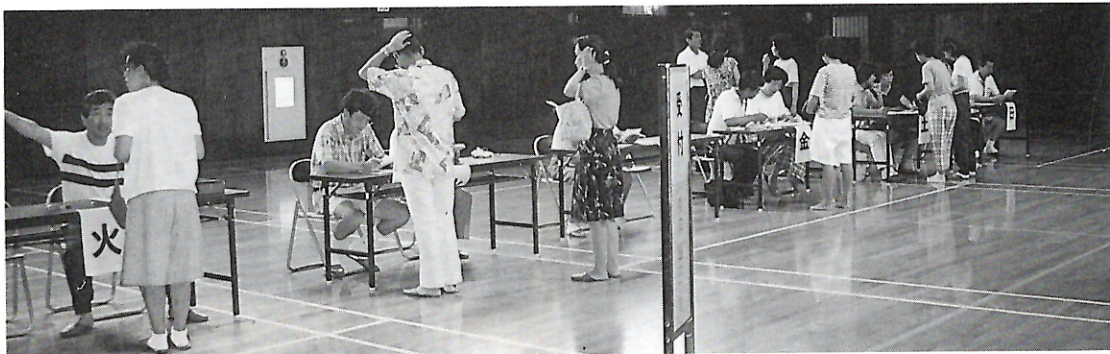


迷惑駐車看板設置(上・下)〈交通安全委〉

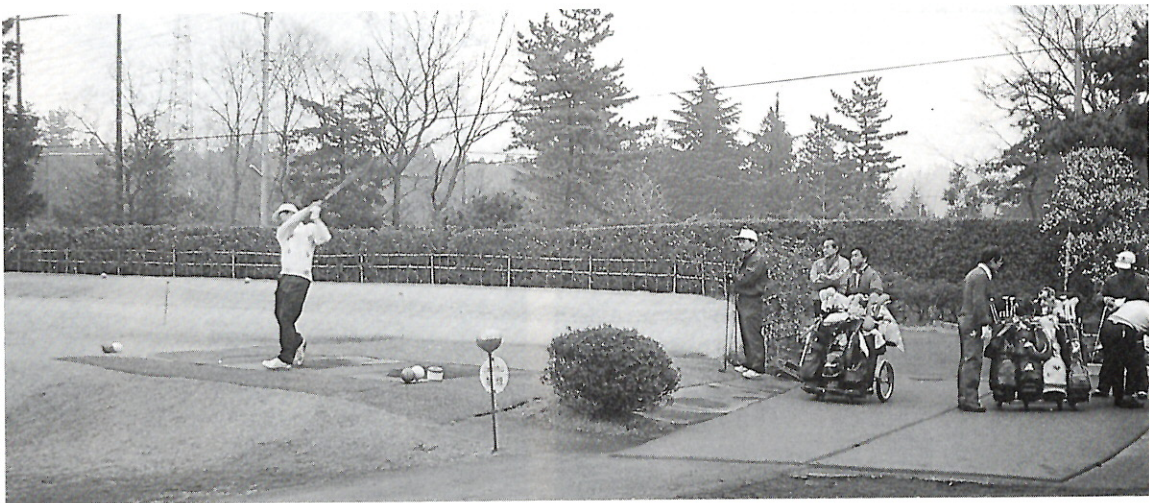




ふれあいのど自慢



団体登録(上)とセンター大掃除(左上)〈センター委〉



チャリティーゴルフ大会

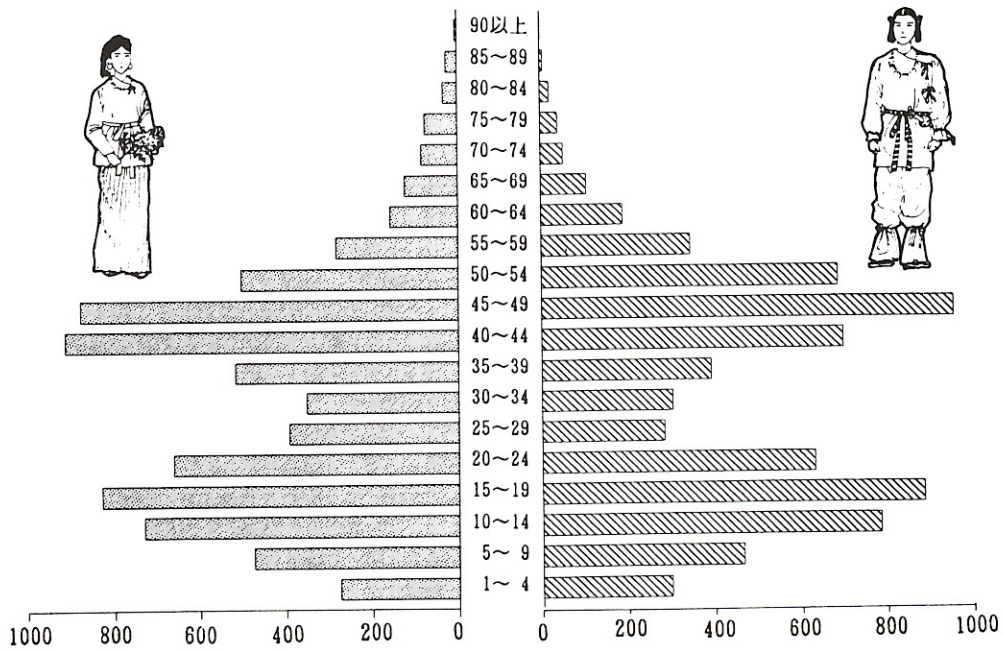
松葉町年令層別人口

(単位：人 上段：男性 下段：女性)

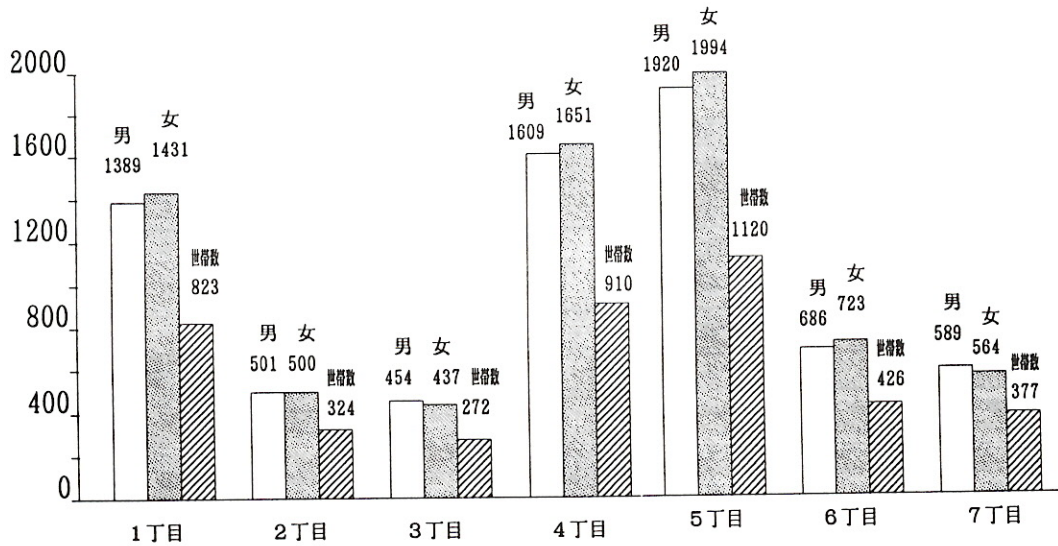
平成6年4月1日現在

年令層	1 丁目	2 丁目	3 丁目	4 丁目	5 丁目	6 丁目	7 丁目	計
0才	65	30	38	49	63	16	38	299
～4才	63	25	33	40	67	16	30	274
5	97	29	32	100	152	26	38	466
～9	93	37	29	122	133	20	30	473
10	159	40	37	210	235	61	41	783
～14	171	48	36	182	204	53	36	730
15	173	56	39	213	254	85	64	884
～19	150	38	46	204	251	89	50	828
20	99	40	34	139	159	87	74	632
～24	110	50	33	147	175	82	63	660
25	59	33	26	33	56	35	41	283
～29	75	35	33	42	101	58	47	391
30	53	50	42	35	52	23	47	302
～34	73	45	43	69	70	18	33	351
35	83	37	40	83	104	19	27	393
～39	102	40	32	136	150	24	31	515
40	155	42	42	179	195	41	42	696
～44	200	47	44	220	274	75	50	910
45	178	48	46	237	300	85	59	953
～49	166	47	36	212	262	92	61	876
50	128	38	27	171	176	94	51	685
～54	90	29	23	117	125	67	50	501
55	46	24	20	72	99	55	29	345
～59	47	20	16	56	80	37	25	281
60	37	16	10	36	42	26	20	187
～64	33	11	10	35	32	18	17	156
65	23	8	8	23	18	15	9	104
～69	13	13	8	26	29	20	13	122
70	9	6	5	10	11	6	5	52
～74	10	3	4	17	26	15	8	83
75	6	3	2	6	6	7	9	39
～79	15	5	4	12	13	20	6	75
80	6	2	2	2	4	3	1	20
～84	7	5	1	5	5	8	2	33
85	2	0	1	1	1	1	1	7
～89	3	4	4	2	7	3	3	26
90	0	0	1	0	0	0	0	1
～以上	1	0	0	1	0	0	3	5

平成6年度年代別人口構成



平成6年度丁目別人口構成



松葉町人口・世帯数推移表

昭和31年3月現在

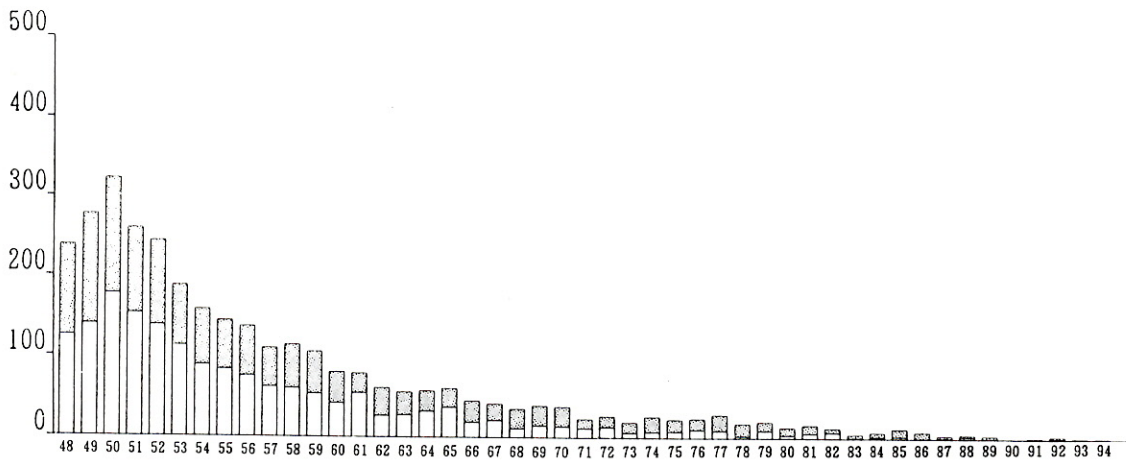
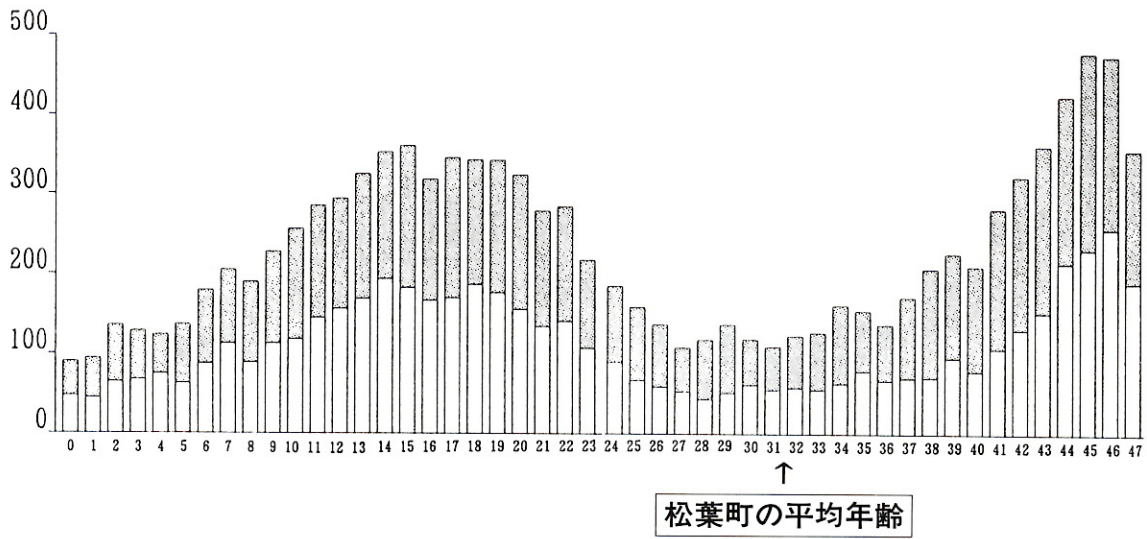
	1丁目		2丁目		3丁目		4丁目		5丁目		6丁目		7丁目		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
昭和59年度 (/984年)	807	792	284	300	171	181	1,134	1,103	1,470	1,507	563	538	251	259	4,680	4,680
	1,599	447	584	169	352	97	2,237	551	2,977	790	1,121	1,231	510	510	9,360	9,360
昭和60年度 (/985年)	931	900	345	344	211	218	1,153	1,122	1,723	1,762	617	614	309	321	5,289	5,281
	1,831	1,831	689	689	429	429	2,275	2,275	3,485	3,485	1,231	1,231	630	630	10,570	10,570
昭和61年度 (/986年)	995	964	372	377	251	247	1,397	1,395	1,838	1,872	643	631	338	348	5,834	5,834
	1,959	541	749	232	498	142	2,792	745	3,710	3,710	1,274	351	686	686	11,668	11,668
昭和62年度 (/987年)	1,071	1,037	387	395	270	258	1,619	1,627	1,942	1,964	676	664	354	375	6,329	6,320
	2,108	577	782	245	528	151	3,246	1,045	3,906	3,906	1,340	369	739	739	12,649	12,649
昭和63年度 (/988年)	1,244	1,215	432	435	300	287	1,692	1,683	1,993	2,018	690	668	412	424	6,763	6,730
	2,459	681	867	273	587	173	3,375	903	4,011	4,011	1,358	375	836	836	13,493	13,493
平成元年度 (/989年)	1,244	1,248	460	450	323	314	1,678	1,690	1,993	2,014	692	692	434	443	6,824	6,851
	2,492	692	910	289	637	187	3,368	900	4,007	4,007	1,384	387	877	877	13,675	13,675
平成2年度 (/990年)	1,234	1,241	450	444	406	395	1,671	1,676	1,951	1,992	685	692	478	464	6,875	6,904
	2,475	694	894	284	801	247	3,347	891	3,943	3,943	1,377	389	943	943	13,779	13,779
平成3年度 (/991年)	1,230	1,248	508	516	451	428	1,379	1,659	1,944	2,009	672	703	540	512	7,024	7,075
	2,478	699	1,024	325	879	284	3,338	902	3,953	4,003	1,375	401	1,052	1,052	14,099	14,099
平成4年度 (/992年)	1,241	1,271	520	511	456	432	1,642	1,666	1,979	2,024	672	709	561	534	7,071	7,147
	2,512	713	1,031	335	888	265	3,308	897	4,003	4,003	1,381	410	1,095	1,095	14,218	14,218
平成5年度 (/993年)	1,364	1,403	511	510	487	442	1,609	1,650	1,973	2,026	684	708	599	567	7,207	7,306
	2,467	797	1,021	335	909	270	3,259	900	3,999	4,130	1,392	417	1,166	1,166	14,513	14,513
平成6年度 (/994年)	1,389	1,431	501	500	454	437	1,609	1,651	1,920	1,994	686	723	589	564	7,148	7,300
	2,820	823	1,001	324	891	272	3,260	910	3,914	4,120	1,409	426	1,153	1,153	14,448	14,448
															4,252	4,252

松葉町年令別人口

平成6年4月1日現在

年令	計		年令		計	年令	男	女	計	年令	男	女	計
	男	女	男	女									
0	47	43	90	36	140	72	13	14	27				
1	44	50	94	37	174	73	6	13	19				
2	65	71	136	38	209	98	7	15	26				
3	68	61	129	39	228	81	8	14	23				
4	75	49	124	40	212	10	10	14	24				
5	63	74	137	41	283	9	9	20	29				
6	88	92	180	42	324	3	3	15	18				
7	13	92	205	43	363	9	9	11	20				
8	89	101	190	44	424	4	4	9	13				
9	118	114	232	45	474	6	7	10	16				
10	113	114	227	46	474	7	4	5	12				
11	145	138	283	47	577	1	1	4	5				
12	157	140	297	48	640	2	2	5	7				
13	169	156	325	49	726	3	3	8	12				
14	184	159	343	50	867	0	0	3	18				
15	183	178	361	51	991	1	1	3	24				
16	167	152	319	52	1066	3	3	2	33				
17	170	172	342	53	1191	0	0	4	40				
18	177	156	333	54	1477	0	0	1	54				
19	187	166	353	55	1911	0	0	0	90				
20	156	168	324	56	2400	1	1	2	133				
21	135	144	279	57	3113	0	0	1	192				
22	141	143	284	58	4117	0	0	1	294				
23	102	109	211	59	5541	0	0	1	421				
24	92	99	188	60	831	7,131	7,290	14,421					
25	69	93	162	61	637								
26	61	79	140	62	579								
27	55	56	111	63	599								
28	45	76	121	64	624								
29	53	87	140	65	462								
30	63	58	121	66	421								
31	57	55	112	67	360								
32	60	66	126	68	430								
33	57	73	130	69	394								
34	65	99	164	70	244								
35	81	76	157	71	244								

松葉町年令別人口構成 (平成6年)



≡ ≡ 松葉町命名の由来 ≡ ≡

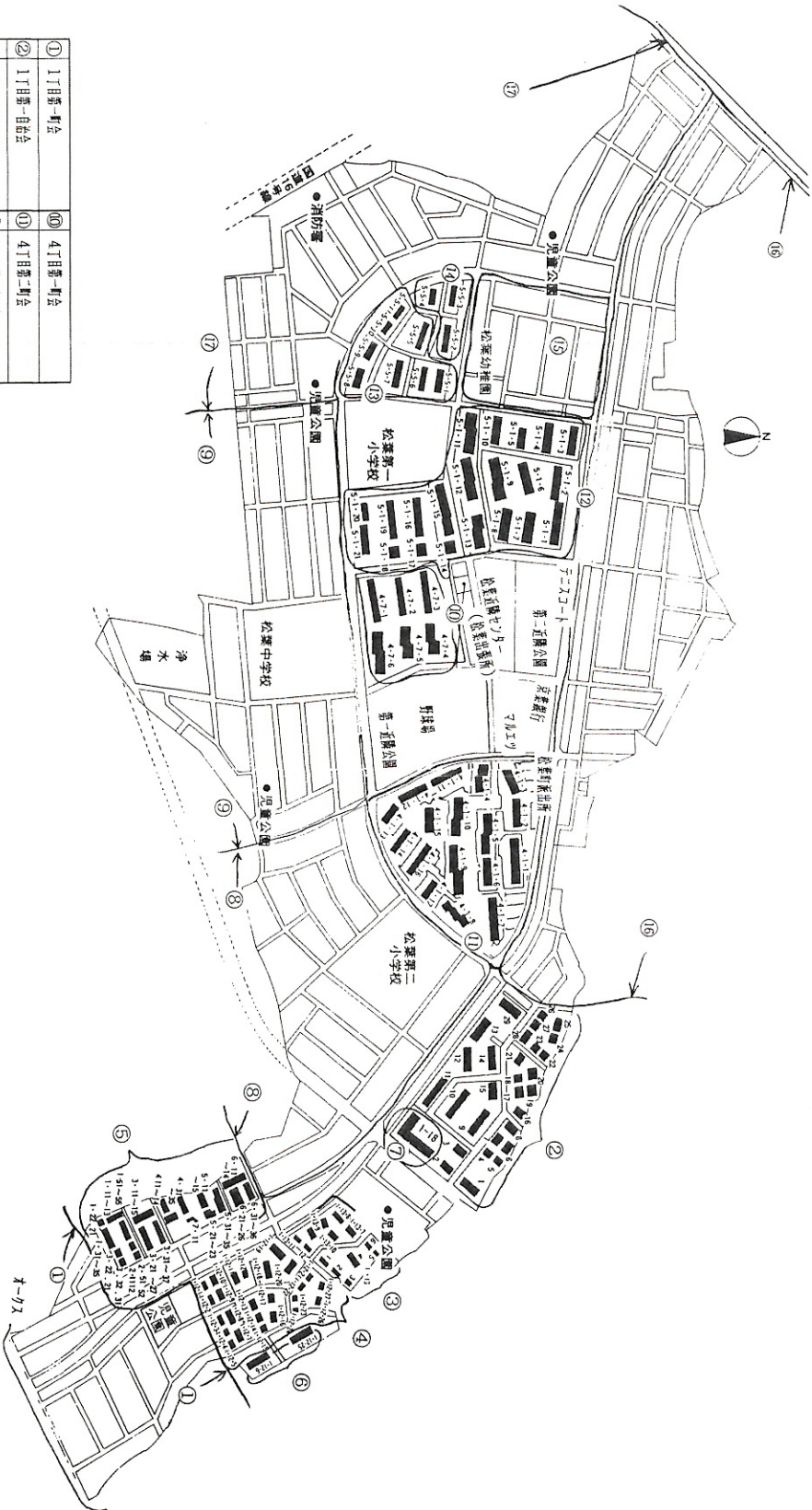
日本住宅公団（現住宅・都市整備公団）が北柏地区で進めていた土地区画整理地区の町名が、昭和54年5月7日から「松葉町」と変わりました。

新町名は、54年3月、市の広報で公募、新町名委員会が検討、「付近一帯が松林であること、松の緑の清潔さ、力強さなどが表現されている」として、松ヶ崎に住んでいる村井きよ子さん（現在松葉町居住の主婦）が付けた名前が採用されたものです。

正式使用は、区画整理の換地処分の公告の翌日からとなっており、55年5月末から、住所・本籍など全てが「松葉町1丁目～7丁目」と表示されるようになりました。



作者：千葉耕三 松葉町一丁目



① 1丁目第一町会	⑩ 4丁目第一町会
② 1丁目第二町会	⑪ 4丁目第二町会
③ 1丁目第三町会管理組合	⑫ 5丁目第一自治会
④ 1丁目第三町会管理組合	⑬ 5丁目第二自治会管理組合
⑤ コーポラティブな植	⑭ 5丁目第三町会
⑥ マカワカワの自治会	⑮ 5丁目町会
⑦ マカワカワ自治会	⑯ 6丁目町会
⑧ 2丁目町会	⑰ 7丁目町会
⑨ 3丁目町会	

松葉町全体図

《編集後記》

ある主婦の呼び掛けで始まった近隣センターの建設話し。協議会の誕生。それからの10年はとてつもなく早い。記念事業の一貫として記念誌の発行が決まってから、4カ月間の土・日を全て返上して取り組んだ。季節は、梅雨時から晩秋になった。最も苦労したのは、10年間の行事を纏める事だった。記憶というのは、かなり好い加減なもので、資料を集めて見ても思い出せない事が多い。「あのときはああだった」「いやこうだった」と脱線ばかりで、作業は進まない。ご他聞に漏れず、想像した通り後半追い込み形となった。各委員ともサラリーマン稼業の傍ら集まる為と、これらの作業に疎い人達の為、大した冊子にはならなかった。あれもこれもと思い返すばかりだが、10年間の歴史を紐解くという点だけに限れば、役員を務めた諸子の苦勞はご理解頂けると思う。一つの行事が、僅か一行で、裏で働く委員の汗は見えてこない。『言うは易し行うは難し』である。行うは難しの集合体が、この記念誌である。

記念誌の発行に際し、ご協力を頂いた市長を始め、両小学校の子供達ほか各位のご協力に深甚の意を表すものである。(大)

【協議会設立10周年記念事業実行委員名簿】

高田保典・村井寿太郎・川上利男・浜田親雄
末継重利・土蔵紘一・高田武夫・大蔵隆史

協議会創立10周年記念誌

《松葉町はこんな街》

平成7年1月8日発行

編集者 松葉町地域ふるさとづくり協議会

記念誌実行委員会

発行 松葉町地域ふるさとづくり協議会
責任者 会長 末継重利

柏市松葉町四丁目十一番地

〇四七一(三二)四九三八